



平成 30 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名	株式会社クレステック
代表者名	代表取締役社長 高林 彰 (コード：7812 東証 J A S D A Q)
問合せ先	取締役執行役員管理部長 三輪 雅人 (TEL. 053-435-3553)

イナゴ株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 9 月 12 日開催の取締役会において、以下のとおり、イナゴ株式会社(以下、「イナゴ社」という)との間で業務提携契約を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の理由

当社グループは、中期経営計画「CR Vision 2020」の基本方針である「成長に向けた企業基盤の確立へ」に向けて、“事業強化”と“体制強化”の二本の柱をもとに経営重点戦略を継続的に推進してまいりました。今回の提携は両社の得意分野を相互に活用し、事業強化を目指すもので、具体的には以下のとおりです。

現在、IT の進化や市場の多様化により一般消費者（以下、「ユーザー」という）を取り巻く環境は大きく変化している中、ユーザーによる製品使用やサービスの享受では、情報の氾濫や複雑化（多層化）により必要時に迅速かつ正確に情報へのアクセスすることが難しい環境となっております。

また、企業内ではユーザーとのアクセスポイントである企業窓口（販売店頭やコールセンター、カスタマーサポート窓口等）に製品情報やサービス情報の集約や整理が不十分であったり、仕組みが無いなどにより、ユーザーに十分かつ適切な情報提供ができておりません。その結果、ユーザーの製品誤操作や無駄なオペレーションを招くこととなっております。

これらの問題解決には、より簡易的で正確なユーザーとのアクセスポイントを構築すること、そして企業内の情報の集約や整理を推進することが必要と考え、製品の技術情報に関する当社のノウハウや当社の構造化データの分析力、そしてヒューマンコンピューターインタラクション技術（以下、「HCI 技術」という）に長けたイナゴ社の自然言語理解などの AI 技術力や対話エンジン開発力を相互に融合することで、新たなサービスとソリューションを創造し、市場へ提供することで、ユーザーが安心して製品やサービスを受けられる環境づくりに貢献することを目指します。

2. 業務提携の内容

企業内の情報の集約や整理のためには、商品に添付される取扱説明書だけではなく、整備書や FAQ、動画、カタログ等、各部門が制作するあらゆる商品情報をもとに商品の知（以下、「ナレッジ・ベース」という）を構築します。

構築したナレッジ・ベースの有効活用として、情報アクセス者（ユーザー及び企業窓口等）の利用環境に応じたインタフェースをイナゴ社の AI 技術をベースとした対話型エンジン（自然言語理解）を利用して構築し、迅速に、より正確な情報提供を実現します。なお、インタフェースでは、自然な言葉で対話できる音声アシスタント機能（イナゴ社「netpeople」）を装備した音声認識ソフトウェアやテキストによる対話型バーチャルエージェント機能などにより、直感的なユーザーインタラクションを実現し、製造業をはじめ、各種サービス展開している企業に向け、大きく分けて3つのサービスまたはソリューション提供を行ってまいります。

- (1) ユーザー向けバーチャルエージェント（ソリューション）
- (2) フロント業務支援システム（サービス、ソリューション）
- (3) バックヤード業務支援システム（サービス、ソリューション）

3. 業務提携の相手先の概要

①名称	イナゴ株式会社	
②所在地	東京都港区麻布十番1-4-5 深尾ビル5階	
③代表者	ロン・ディカールアントニオ (Ron DiCarlantonio)	
④事業内容	HCI 技術の技術開発・販売、インテリジェントアシスタントの開発およびプラットフォームの提供等	
⑤資本金	72,615 千円	
⑥設立	2000年6月	
⑦当社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。

4. 日程

取締役会決議日	平成30年9月12日
契約締結日	平成30年9月12日
事業開始日	平成30年9月12日（予定）

5. 今後の見通し

連結業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上